

ず～むあっぷ☆

オホーツク

春を待つメルヘンの丘（大空町）

2023年
3月号農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

アルポ

ARVOで特別な乳製品を味わってみませんか！

有限会社中谷牧場（湧別町）『若里ジャージーミルク工房ARVO（佐呂間町）』

中谷牧場のジャージー牛
とにかくかわいい！（中谷社長談）ARVO外観（旧若里小学校）
遊具もあって楽しめます。

こだわりのジャージー牛飼育

○有限会社中谷牧場は湧別町で約870頭（ホルスタイン牛 約760頭、ジャージー牛 約110頭）の乳牛を飼養しているメガファームです。社長の中谷友則さんはジャージー牛の飼育を2頭から始め、15年以上かけて約110頭まで増頭し、ジャージー乳を安定的に確保できるようになりました。

ジャージー乳はホルスタイン乳に比べて乳脂肪分やタンパク質の含有量が多いため、アイスクリームなどにすると上質で濃厚な味わいになると考えた社長は、自社牧場で搾ったジャージー乳を原料にした乳製品の開発を模索しました。

廃校舎を活用して乳製品開発

○乳製品の開発を模索する中、隣町である佐呂間町の廃校となった小学校を利用できることになり、佐呂間町から借り受けました。

2019年1月に「オホーツク産ジャージー乳による上質アイスクリームとヨーグルトの製造販売事業」で農林水産省の六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受け、小学校跡をカフェ付きの乳製品加工場に改装して加工品開発をスタートしました。



ジェラート&ソフト

若里ジャージーミルク工房ARVOオープン

○乳製品の加工・新商品の開発等は中谷社長の娘さん夫婦（丸山洋平さん・美穂さん）が中心となり進め、ジャージー乳の特徴を生かした牛乳・ドリンクヨーグルト・プリン・ジェラートなどを商品化し、2021年8月に「若里ジャージーミルク工房ARVO」として、ジャージーミルク専門のカフェ兼ショップを本格的にオープンしました。

（「ARVO」は「特別」を意味するフィンランド語）

ジャージー乳のみを原料にした特別感と上質なアイスクリームなどが好評で、オープン当初から多くの来客で賑わっています。旧小学校という構造を生かし、小さな子供が遊べるように広いホールに平均台や遊具等を配置しているほか、どこか懐かしい雰囲気がある教室を利用したイトインスペースもあり、家族連れが多く来店しているというのも納得です。

そろそろ雪も溶け始め、待ち遠しい春ももうすぐです。ドライブがてらジャージー乳を原料にした「特別」なジェラートやスイーツを味わいに行ってみませんか。

（詳しくはARVOホームページ等でご確認ください。ARVOに可愛いジャージー牛はいません。）

★常呂郡佐呂間町若里498-4
★営業時間：11:00～16:00
★営業日：カフェは土・日曜のみ営業

※月・金曜が祝日のときは営業
詳しくはInstagram (arvojersey_lives) から「CAFE営業日」をご確認ください。

